

令和6年度事業報告

I. 事業の状況

1. 奨学事業

(1) 外国人留学生に対する奨学事業

1) 奨学生の選考及び決定

令和6年4月22日に開催の選考委員会において、推薦を依頼した指定23大学からの奨学生候補者について審査の結果、下表のとおり、一般奨学生29名（学部11名、大学院18名）、特別研究奨学生5名の計34名を新規に採択し、理事会は、これらを第23期小林奨学生として決定し、それぞれの大学に通知した。

これにより、令和6年度（第23期）の奨学生は、新規採択奨学生34名に継続の奨学生36名を合わせ、計70名となった。

内訳：

種 別		新規採択者	前年度からの継続者	計
一 般 奨 学 生	学 部	11	7	18
	大学院	18	21	39
特別研究奨学生	学 部	0	0	0
	大学院	5	8	13
計		34	36	70

2) 奨学金の支給

ア. 奨学金贈呈式

令和6年6月7日に、新規奨学生への贈呈式を行った。

イ. 奨学金の支給

奨学生に対し、一般奨学金（学部生月額15万円、大学院生月額18万円）、特別研究奨励金（月額20万円）をそれぞれ4月から1年間支給した。

(2) 日本人学生に対する奨学事業

1) 医学部生育成支援プログラム第4期生の選考及び決定

令和6年7月31日開催の選考委員会（Zoom開催）において、推薦を依頼した、指定4大学からの候補者について審査の結果、合計8名（東北大学2名、東京大学2名、京都大学2名、大阪大学2名）の者を採択し、理事会は、これらを医学部生育成支援プログラム第4期生として決定し、それぞれの大学に通知した。

2) 奨学金の支給

ア. 奨学金贈呈式

令和6年10月4日に、Zoomにより実施した。

イ. 奨学金の支給

奨学生に対し、月額20万円をそれぞれ4月から1年間支給した。

(3) 学業に関する報告及び生活状況報告

令和7年1月、奨学生（外国人留学生）に、勉学の状況・成果の報告、生活状況報告を求めた。

また、令和7年3月、医学部生育成支援プログラムによる第1期生から第4期生に、学業報告及び成績証明書の提出を求めた。

(4) 令和7年度奨学事業関係

1) 外国人留学生に対する奨学事業

令和7年1月14日付けで、令和7年度奨学生（第24期）候補者の推薦を指定24大学の長あて依頼した（推薦期限は2月26日）。

2) 日本人学生に対する奨学事業

令和7年3月21日付けで、令和7年度奨学生（第5期）候補者の推薦を4大学（指定大学）の医学部長あて依頼した（推薦期限は6月30日）。

2. 交流活動事業等

(1) 奨学生交流会

奨学生交流会を、財団役員、評議員及び選考委員の出席を得て、次のとおり開催した。

第1回 令和6年6月7日 第23期贈呈式・交流会

第2回 令和7年3月6日～7日（1泊2日の研修旅行）

第3回 令和7年3月14日 第23期終了式・交流会

(2) 「翼」の発行

奨学生相互間、奨学生と財団間の交流に資するための交流誌「翼」第23号を令和7年3月31日に刊行した。

3. 研究支援事業

(1) 研究助成事業

① 公募期間：令和6年8月13日～9月27日

② 令和6年12月5日開催の選考委員会において下記46件を採択し、理事会は、これらを研究助成受給者として決定し、各研究代表者に通知した。

（合計 180,000 千円）

No	氏 名	所属機関及び職名	専門分野	研究テーマ
1	山村 凌大	北海道大学 遺伝子病制御研究所 助教	腸内細菌学 病態医化学 創薬科学	潰瘍性大腸炎の新規治療標的とシーズとの同定
2	柿崎 育子	弘前大学大学院 医学研究科 准教授	生化学 糖鎖工学	生薬成分の構造と機能に関する研究
3	笹部美知子	弘前大学 農学生命科学部 准教授	植物分子生理学 植物発生学 細胞生物学	植物に虫こぶ形成を誘導する寄生昆虫が生産する新規生理活性物質の探索と同定
4	長谷川 豊	岩手医科大学 内科学講座 糖尿病・代謝・ 内分泌内科学分野 特任准教授	肥満・脂肪生物学 糖尿病学	カプサイシン・ポリメトキシフラボンによる脂肪燃焼効果の解明と肥満・メタボリック治療の新規開拓
5	柳川 正隆	東北大学大学院 薬学研究科 准教授	生物物理学	多色1分子計測の自動化によるGPCRシグナル伝達の次世代ハイコンテント解析
6	荒木 保幸	東北大学 多元物質科学研究科 准教授	光化学	サブナノ秒の時間領域で測定可能な円二色性検出法の開発と生体関連分子と薬剤小分子の相互作用検出

7	前島 裕子	福島県立医科大学 医学部 准教授	生理学 神経内分泌学	オキシトシン受容体を介した加味帰脾湯のストレス軽減作用およびそのメカニズムの検討
8	澤幡美千瑠	自治医科大学 医学部 呼吸器内科 講師	内科学講座 呼吸器内科学部 門	サルコイドーシスにおける <i>C.acnes</i> の臨床的意義の解明と新規ファージ療法の開発研究
9	神谷 亘	群馬大学大学院 医学系研究科 教授	ウイルス学	モンゴル国内におけるウシ RS ウイルスの蔓延状況の把握と宿主免疫回避機構の解析
10	小尾 紀翔	群馬大学大学院 医学系研究科 応用生理学 分野	神経医学 精神医学	精神疾患創薬に資する新規幻覚性物質の探索を目的とする幻覚性天然物創薬の確立
11	倉島 洋介	千葉大学大学院 医学研究院 准教授	粘膜免疫・アレルギー	天然物ライブラリーを用いたアレルギー疾患に対する効果的且つ持続的な免疫療法の開発
12	中司 寛子	千葉大学大学院 薬学研究院 准教授	免疫学	老化T細胞における糖鎖発現解析と生体機能低下への影響およびその制御
13	松本 信圭	東京大学大学院 薬学系研究科 助教	神経薬理学 神経生理学	植物由来成分の複合摂取による記憶および睡眠への相乗効果の神経生理学的探究
14	井原聡三郎	東京大学医学部附属病院 助教	消化器内科学	樹状細胞のTGF- β シグナルによる食物アレルギーの制御機構
15	富田 野乃	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授	分子生物学 生化学	哺乳類ミトコンドリアタンパク質合成系を標的としたペプチド医薬の創製
16	山元 良	慶應義塾大学 医学部救急医学 助教	救急医学 外傷外科	外傷性脳損傷に対する神経保護薬の開発:ペランパネルの drug repositioning
17	木村 俊介	慶應義塾大学 薬学部 准教授	細胞生物学	涙道関連リンパ組織を標的としたアレルギー性結膜炎の新規治療法の開発
18	青山 和正	慶應義塾大学薬学部 衛生化学講座 助教	分子生物学 生化学 転写制御エピジェネティクス がん	<i>EZH2</i> 機能喪失を伴う骨髄異形成症候群のがん幹細胞維持機構の解明と創薬標的分子の探索
19	近藤 豊	順天堂大学大学院 医学研究科 教授	敗血症 救急医学	敗血症のQOL改善を目的としたAMPによる創薬研究
20	内藤 聖人	順天堂大学 医学部整形外科講座 准教授	整形外科	転写調節因子 REST に関連する末梢神経軸索再生機構の解明と新規軸索再生治療法の開発
21	板倉 祥子	東京理科大学 薬学部 助教	生物薬剤学	<i>Moringa oleifera</i> 由来エクソソーム様ナノ粒子の生理活性評価と機能化によるがん治療への応用
22	片貝 智哉	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 教授	免疫学	麹菌によるリンパ節応答調節とアレルギー疾患抑制機構の解明

23	内田 仁司	富山大学 学術研究部 医学系 助教	歯学 薬理学	NAD 合成系を標的とした外分泌腺の 機能障害に対する新規治療法および 予防法の開発
24	赤木 一考	富山大学学術研究部 薬学・和漢系 和漢医薬学総 合研究所	分子生物学	抗老化薬としての漢方薬の探索と作用 機序の解明
25	服部 剛志	金沢大学大学院 医薬保健学域 准教授	神経解剖学	NAD ⁺ による抗神経炎症作用のメカニ ズム解明と神経変性疾患予防への応 用
26	宮成 悠介	金沢大学 ナノ生命科学研究所 准教授	分子生物学	細胞老化機構の理解と応用
27	坂口 晃平	名古屋大学 医学部附属病院 助教	再 生 医 学 顎顔面外科	線維化抑制機構解明に基づく新たな 骨格筋再生:国際共同研究による挑戦
28	竹本 さやか	名古屋大学 環境医学研究所 教授	神経系分野 分子神経科学	ヒト疾患ゲノム変異に基づく新たな神 経発達症モデルを用いた病態の解明 と治療戦略の構築
29	武藤 淳	藤田医科大学 医学部 准教授	脳神経外科	インドシアニングリーン放射線同位体 化合物の開発と難治性脳脊髄腫瘍に 対する多角的治療法の開発
30	馬場 理	京都大学 医学部附属病院 先制医療・生活習慣病研究	循環器内科学	非定型的ケモカイン受容体 CXCR7 の 動脈硬化における発現、機能解明お よび PET による臨床応用
31	河野 健一	京都大学大学院 薬学研究科 助教	生物物理化学	炎症誘発物質の放出遮断による即時 性アレルギー治療法の基盤構築
32	三宅 崇仁	京都大学大学院薬学研究科 システムバイオロジー分野 助教	生理学 生化学	体温を基軸にした生命現象の解明-温 度を高く保ち続ける意義は何か?-
33	榎原 智美	明治国際医療大学 看護学部 准教授	末梢神経機能形 態学	新たな皮膚感覚の機能的・構造的単 位「センソリオン」とそのアトラス作成
34	梶田美穂子	立命館大学 生命科学部 助教	腫瘍免疫学	初期がんでの根治を目指したがん免 疫始動システムの解析
35	孟 思昆	大阪大学大学院医学系研究 科 疾患データサイエンス学 特任助教	実験腫瘍学	日中研究者共同による天然化合物で キメラ受容体 T 細胞を誘導する技術の 開発
36	高野 桂	大阪公立大学大学院 獣医学研究科 准教授	獣医学	神経変性疾患発症に関わるグリア細胞 活性化に対する大気汚染状況の影響
37	小坂 久	関西医科大学 肝臓外科学講座 講師	肝胆膵外科	Electrical Muscle Stimulation を用いた 在宅セルフリハビリテーションが高齢が ん患者のサルコペニアを改善する機序
38	靱 千恵	神戸大学大学院 保健学研究科 講師	保健学研究科 パブリックヘルス 領域	インドネシアの伝統的な健康食品を用 いた抗肝炎ウイルス薬の探索に関する 研究

39	桑子賢一郎	島根大学 医学部 神経・筋肉生理学 准教授	分子神経生物学	ニューロンにおける核構造と遺伝子発現の加齢変容から迫る生理的脳老化機構
40	吉川倫太郎	島根大学 医学部生命科学講座 助教	幹細胞生物学 (間葉系幹細胞) 免疫学	間葉系幹細胞による安定かつ機能的な抗原特異的誘導型制御性T細胞作製法の確立
41	中佐 智幸	広島大学大学院 医系科学研究科 人工関節・生体材料学	運動器学	植物由来細胞外小胞を用いた変形性関節症に対する新規治療の確立
42	下地 清史	広島大学病院 呼吸器内科 助教	呼吸器内科学	<i>Lactobacillus reuteri</i> (<i>Prodentis</i>)によるバクテリアセラピーがもたらす肺がん免疫治療のブレイクスルー
43	川田 敬	徳島大学大学院 医歯薬学研究部 助教	臨床薬学実務教育学	蒼朮由来ナノ粒子の抗神経炎症作用の機序と有効成分の解明
44	高田 春風	徳島大学大学院 医歯薬学研究部(薬学域)薬物動態制御学分野	薬剤学	人工高分子 PEG を含む香粧品の皮膚塗布時に生じる抗 PEG 抗体誘導現象の機序解明
45	韓 魏	九州大学大学院 農学研究院 生命機能化学部門 生物機能分子化学講座 助教	創薬化学 農薬化学	新規非対称トリス複素環化合物を利用する低酸素応答抗がん剤の探索研究
46	鬼木健太郎	熊本大学大学院 生命科学研究部(薬学系) 准教授	薬物治療学 生物統計学	肥満・脂肪肝予防・改善のための血中代謝物に基づいた個別化栄養素摂取システムの開発

(2) 顕彰事業（第6回小林賞）

- ① 公募期間：令和6年7月16日～9月13日
- ② 令和6年12月16日開催の小林賞選考委員会において、第6回小林賞推薦人の京都大学大学院医学系研究科 小椋 利彦 特任教授から推薦のあった、岡山大学異分野基礎科学研究所教授の 沈 建仁 氏を受賞候補者として選定、理事会は、同氏を「第6回小林賞受賞者」として決定し、推薦者及び受賞者に通知した。
- ③ 小林賞贈呈式
小林賞贈呈式は、令和7年2月27日に、リーガロイヤルホテル大阪において開催した。

Ⅱ. 処務の概要

1. 会議等に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 6 年 4 月 17 日 (決議の省略)	1. 評議員選定委員の選任について	承認・可決
	2. 小林賞選考委員会委員の選任について	承認・可決
	3. 医学部生育成支援プログラム選考委員会委員の選任について	承認・可決
令和 6 年 5 月 1 日 (決議の省略)	1. 令和 6 年度（第 23 期）奨学生の決定について	承認・可決
令和 6 年 6 月 7 日 (決議の省略)	1. 令和 5 年度事業報告及び収支決算について	承認・可決
	2. 小林賞選考委員会規程の変更について	承認・可決
	3. 職務執行状況の報告について（報告）	
令和 6 年 8 月 14 日 (決議の省略)	1. 医学部生育成支援プログラム（第 4 期生）奨学生の決定について	承認・可決
令和 6 年 10 月 29 日 (決議の省略)	1. 評議員候補者の推薦について	承認・可決
令和 6 年 12 月 27 日 (決議の省略)	1. 第 13 回（令和 6 年度）研究助成の決定について	承認・可決
令和 7 年 1 月 10 日 (決議の省略)	1. 第 6 回小林賞受賞者の決定について	承認・可決
令和 7 年 1 月 30 日 (決議の省略)	1. 令和 6 年度臨時評議員会の開催及び招集について	承認・可決
令和 7 年 2 月 5 日 (決議の省略)	1. 株主権の議決権行使について	承認・可決
令和 7 年 3 月 14 日	1. 令和 7 年度事業計画及び収支予算について	承認・可決
	2. 令和 7 年度定時評議員会の開催について	承認・可決
	3. 職務執行状況の報告について（報告）	
令和 7 年 3 月 31 日 (決議の省略)	1. 小林賞選考委員会における選考委員の選任について	承認・可決
	2. 医学部生育成支援プログラム選考委員会における選考委員の選任について	承認・可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 6 年 6 月 24 日	1. 令和 5 年度事業報告について（報告）	
	2. 令和 5 年度決算の承認について	承認・可決
	3. 理事の選任について	承認・可決
	4. 評議員候補者の推薦について	承認・可決
令和 6 年 7 月 8 日 （決議の省略）	1. 評議員候補者の推薦について	承認・可決
令和 7 年 3 月 14 日	1. 令和 7 年度事業計画及び収支予算について	承認・可決
	2. 職務執行状況の報告について（報告）	

(3) 評議員選定委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 6 年 6 月 25 日	1. 評議員の選任について	承認・可決
令和 6 年 7 月 23 日	1. 評議員の選任について	承認・可決
令和 6 年 11 月 7 日	1. 評議員の選任について	承認・可決

(4) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 6 年 4 月 22 日	令和 6 年度奨学生の選考 （申請者数：一般奨学生 41 名、 特別研究奨学生 7 名）	書類審査により、 一般奨学生 29 名、 特別研究奨学生 5 名の 計 34 名を新規に選考
令和 6 年 7 月 31 日	令和 6 年度「医学部生育成支援プログラム」 奨学生（第 4 期生）の選考 （申請者数：8 名（4 大学各 2 名））	書類審査並びに面接 （Zoom）により、8 名 を新規に選考
令和 6 年 12 月 5 日	令和 6 年度研究助成の選考 （申請件数：200 件）	書類審査により、 新規 46 件を選考
令和 6 年 12 月 16 日	令和 6 年度「第 6 回小林賞」の選考 （申請件数：14 件）	書類審査により、 岡山大学異分野基礎 科学研究所教授の 沈 建仁 氏を選考

なお、令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成していない。